

第 6 回 輸血 検査研究班班会議議事録

- 1 日 時 : 2019 年 12 月 19 日 18 時 30 分 ~ 20 時 00 分
- 2 場 所 : JCHO 埼玉メディカルセンター会議室
- 3 出席者 : 山田攻、渡邊一儀、宮澤翔子、小林真弓、小原佑太、久保居由紀子
- 4 欠席者 : 長谷川卓也、野呂光恵

5 議事内容 (用紙不足の場合は欄右上に No を記入し追加使用下さい)

No 1

1) 来年開催予定の輸血検査実技研修会について

- ①ここ数年は午前初級、午後中級による半日 2 回開催であった。しかし説明・解説に費やす時間が不十分であった為、来年度は初級・中級に分けず 1 日通して行うことにする。開催時期は従来通り 7 月とする。
- ②会場については今年度同様に東武医学技術専門学校とする。
- ③実技については、医療機関で行う検体の確認からルーティン検査、精密検査、適合血選択、臨床への報告といった一連の業務の流れに準じた対応を試みる。患者背景等も明確に設けるようにする。
- ④実務委員は受講者 4 名につき 1 名程度とする。
- ⑤実技内容には消去法の実施、間接抗グロブリン試験の用手法、カラム法のエアージャック等は必ず盛りこむようにする。
- ⑥検体・試薬準備の簡素化の為に ABO 血液型ウラ検査や不規則抗体スクリーニング検査用赤血球試薬やクームスコントロール等は極力購入するものとする。
- ⑦毎年実技研修会直前に行なう説明会については、廃止の意見もあったが参加者の多い講習会である為、来年度も開催する。
- ⑧小原氏が一連の実技研修内容を立案する。必要に応じて渡邊氏がフォローする。
- ⑨実技研修会案内を掲載するプログラム掲載の期限が 3 月末の為、それまでに内容を選定する。

2) 4 月の講習会について

- ①精度管理報告会と日当直の輸血検査を行なう。司会は久保居氏、講師は宮川氏と宮澤氏。
- ②他の研究班と重なる場合は 5 月開催とする。

3) 来期の体制について

- ①次期研究班員を選考中である。

提出日 2020 年 1 月 15 日

文責 : 山田 攻